

前祭巡行：7月17日 後祭巡行：7月24日

今年から後祭山鉾巡行が復活します

Q 後祭とは？

A 祇園祭は疫病退散を祈願する八坂神社の神事です。古来、神事の中心となる7月17日の神幸祭と7月24日の還幸祭に合せて、17日に前祭の山鉾巡行、24日に後祭の山鉾巡行をすることが習わしになっていました。

昭和35年頃の後祭巡行(三条通)▶



「提供:佛教大学宗教文化ミュージアム」



Q いま、後祭の山鉾巡行はどうしているのか？

A 諸般の事情で、昭和41年(1966年)に、山鉾行事の前祭・後祭合同化が行われてから、前祭の山鉾に続いて後祭の山鉾が巡行しています。

◀ 現在の合同巡行

Q なぜ後祭を復活させるのか？

A 千年以上に渡って継承されてきた前祭・後祭の習わしを、後世に正しく伝えていくためです。

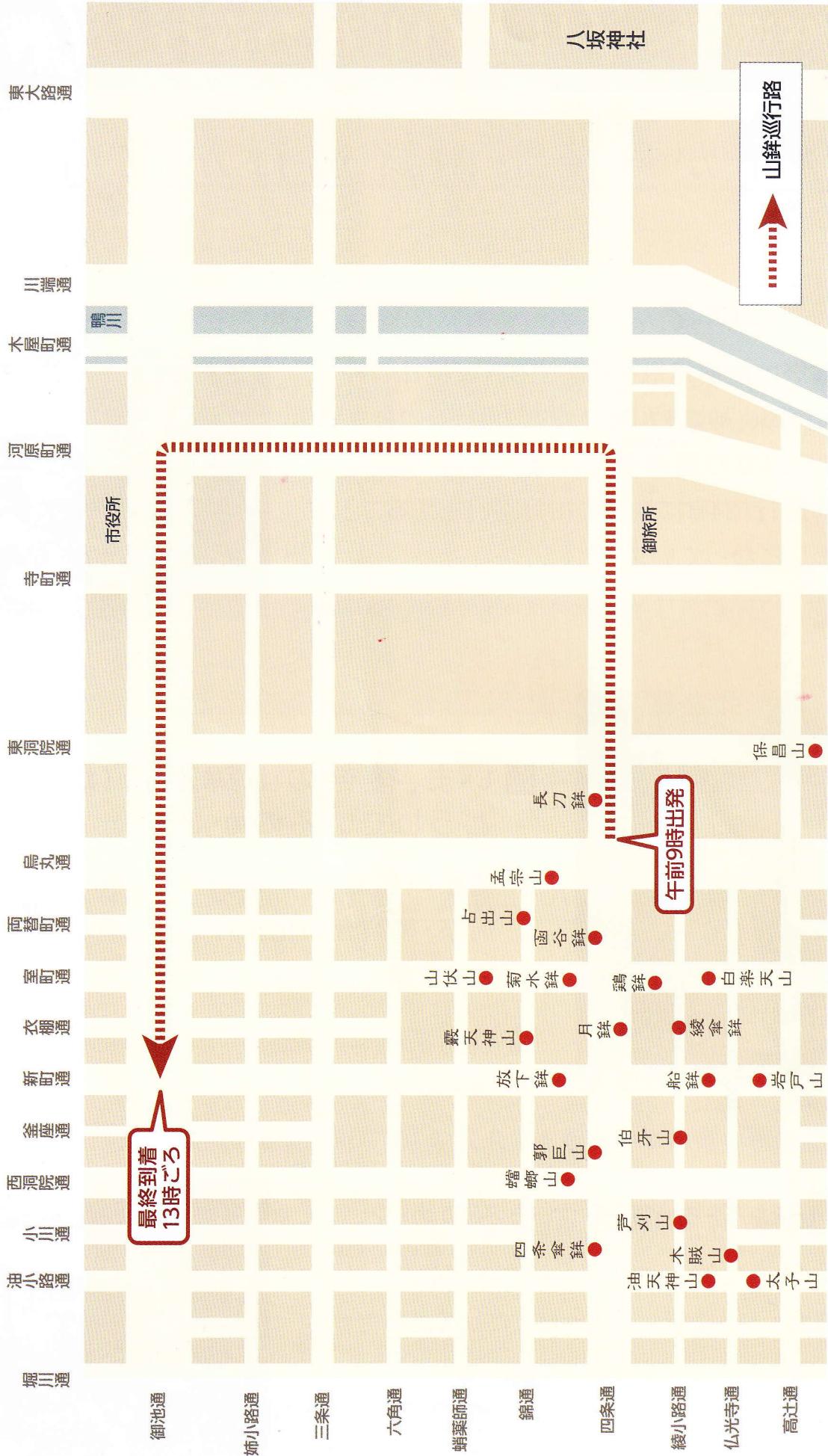
宵山の混雑状況(四条通)▶



祭前

は、従来どおり7月14日～16日が宵山行事、17日に巡行

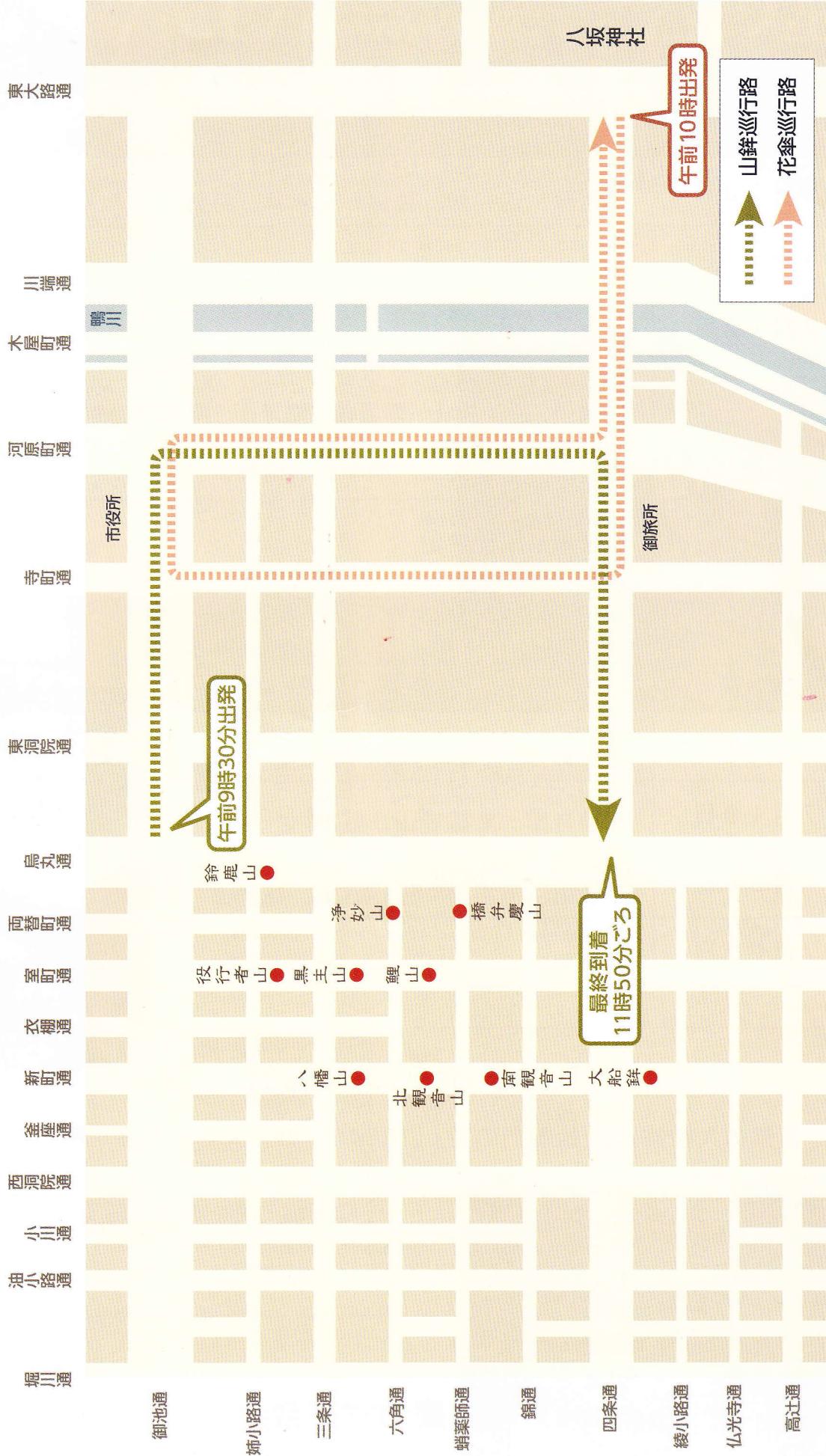
ただし、宵山行事のエリアは従来より狭くなります



後祭

は、7月21日～23日が宵山行事を行います

(下図の山鉾で宵山行事を行います)



山鉾の建日

山鉾建ては、それぞれ下記の日から始まります。

さきまつり 前 祭	
建 日	山 鉾 名
7月10日	なぎなたほこ かんこほこ にわとりほこ きくすいほこ つきほこ 長刀鉾、函谷鉾、鶴鉾、菊水鉾、月鉾
7月11日	ほうかほこ ふねほこ いわとやま 放下鉾、船鉾、岩戸山
7月12日	ほうしょうやま やまぶしやま 保昌山、山伏山
7月13日	うらでやま あられてんじんやま かっきょやま はくがやま あしかりやま あぶらてんじんやま とくさやま 占出山、霞天神山、郭巨山、伯牙山、芦刈山、油天神山、木賊山、 たいしやま はくらくてんやま あやがさほこ どうろうやま 太子山、白楽天山、綾傘鉾、蠍螂山
7月14日	しじょうかさほこ もうそうやま 四条傘鉾、孟宗山

あとまつり 後 祭	
建 日	山 鉾 名
7月17日	おおふねほこ 大船鉾
7月19日	きたかんのんやま みなみかんのんやま こいやま 北觀音山、南觀音山、鯉山
7月20日	じょうみょうやま くろぬしやま えんのぎょうじややま すずかやま はちまんやま 淨妙山、黒主山、役行者山、鈴鹿山、八幡山
7月21日	はしへんけいやま 橋弁慶山

150年ぶりに大船鉾も復活

はまぐりごもん
後祭の大船鉾は、「蛤御門の変」(1864年)の大火で木組みや車輪等の構造物
が焼失してから、長らく、御神体や懸装品だけを飾る「居祭」として参加してきましたが、近年、関係者の努力と各方面からのご支援により復興が進み、いよいよ今年
150年ぶりに復活し、その雄姿を現すことになります。

お問合わせ先

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下ル山伏山町554番地

公益財団法人 祇園祭山鉾連合会

電話 075(741)7211 FAX 075(223)0560